

町内の推移

46年1月1日現在

総人口 9,659人

男4,417人女5,242人

総戸数 3,080戸

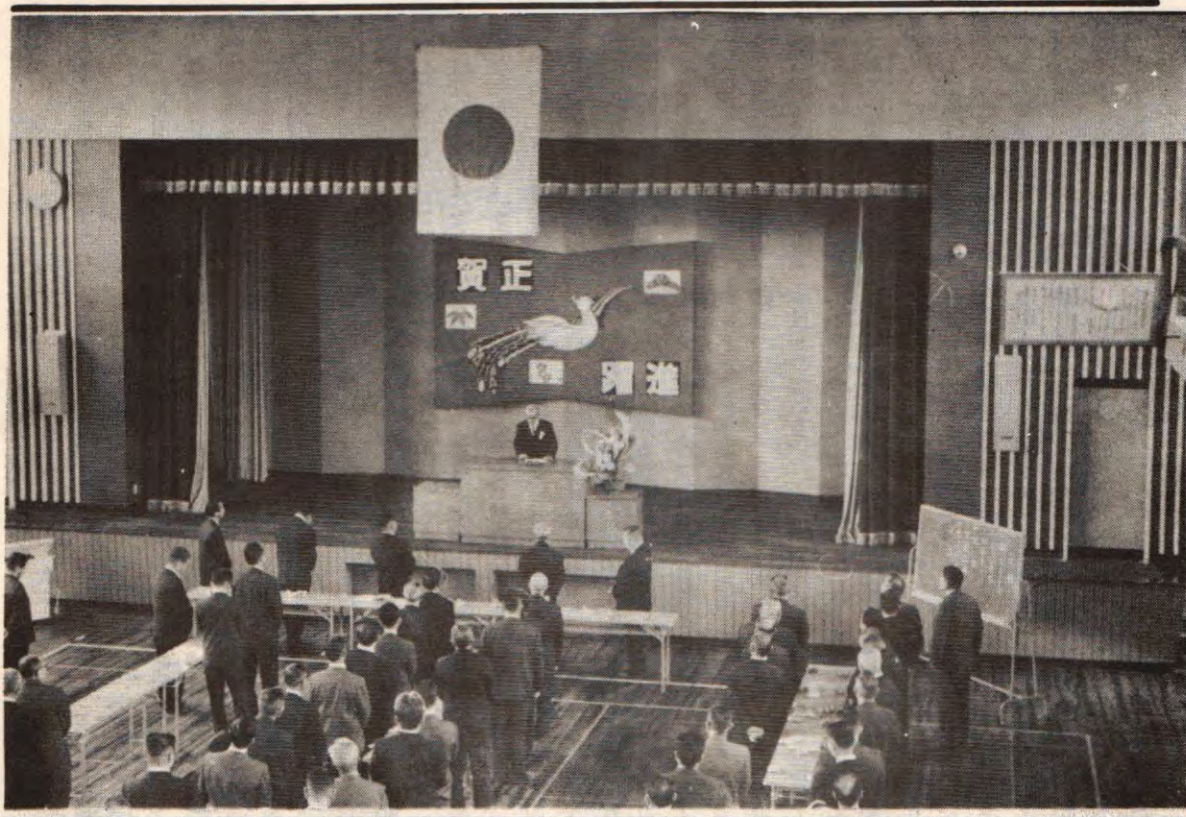


No. 1

昭和 46 年

1 月 10 日

蒲生町役場



年頭の所感

町長 小山田 政弘

明けましておめでとうございます。分が困る時は実は他人も困る事が多いので自分だけの

国も町もそして個人も色々事多かつた七〇年をめでたく迎えました。お互にあれこれと思案工夫してあれこれと対処して、それでうまくいったこともあるし、いかなかったこともあつたなせだつたのか。今一度静かにふりかえつて七一年度に対処したいものである。私は個人としても勿論であるが為政者の姿勢といふことを今一度考えてみたいと思う。

智にはたらけば角が立ち情にさおさせば流される、意地を通せば窮屈だ。とは文豪夏目漱石の名言である。それも住みにくい人の世の常だと観するならそれはそれでよいけれども、現実の社会生活を営む上には、自

えている。為政者の姿勢も亦同じだと思ふ。私は政治以前の問題としてこの自明の理に立つた真の愛町心を深く考へて驚馬にむち打ちたいと思う。

さて私はこの年の始めに當つて、町民の心よりどころである町民憲章を味読して、心を新たにしておこの憲章の趣旨町民の願いを皆さんと共に町政の上に反映し具体化をはかつていかねばならないと思ふのである。先ず本町当面の重大課題は過疎対策である。本町においてはさきに昭和四十五年度から四十九年度までの五ヶ年間の過疎地域振興計画をたて町議会の議決をえて県にも申達している。

国においては過疎地域対策緊急措置法が国会で成立し、その緊急措置が細かく配慮されている。まとめ役の山中総務長官は国会答弁で「今後十年以内には人口の一方的流出はおさまり、現在の過疎地域は都市居住者から心のふるさとして

見直される。それまでもちこたえる条件をみたすがねらい。」と十年間の時限立法とされた意味を述べている。地域開発の原則は住民は住民の働く場としての産業と一定水準の生活環境が均衡をもつて維持されることにある。現在外部からの援助がなければ存立出来ぬとしてもやがては地域として自立しうる条件をととのえ生活の維持向上が目前でやれることが目標である。そのためさし当り基礎的な行政の条件を維持するためテコ入れが今度の過疎立法である。

このような地域づくりを實際に維持するのは、国県の行政官ではなくその地域に住んでいる人々の汗と工夫である。都市生活の魅力に打ちまけず郷土づくりにけりとする地域の人々である。地域住民の意欲と努力と辛抱がなければ過疎対策もよそからもちこまれな絵そらごとになつてしまう。役場、議会、各種機関

団体そして一般地域住民がそれぞれの立場でアイデアを出しあうことが明るい郷土づくりの基盤となり、過疎対策にも魂がはいることになることを銘記すべきである。

ここでは町の五ヶ年計画の内容を詳述する余裕はないが、基本的施策として、交通通信体系の整備、土地利用の高度化、水利の合理化、防災体制の整備、教育の振興、民生の安定、産業の振興、行政の合理化、広域生活圏における本町の役割等基礎的な条件の整備の上

にたつてそれぞれの発展方向を各種諮問機関にはかり議会の議決をえてその推進をはかつていく。

道路については町道整備五ヶ年計画のほかは過疎法により四十五年度事業として過疎債一五七〇万円をうけ、すでに小川内線の改修を実施中であり、更に学校統合による通学道路の整備として一八〇〇万円の事業量で、中福良線二三〇〇米

久末高牧線一八〇〇米、新留後線一四〇〇米、船津線一三八〇米、薄原楓線九〇〇米、米林野線計八四八〇米を防塵舗装することに議会の議決をえている。その他原材料支給による舗装広木線外三線も十二月議会で議決されている。県単舗装としては蒲生高校前の、改良の完工したところ、米九一〇〇米、川東有川蒲生線三〇〇米、北上二〇〇〇米、漆上八〇〇米等事業費八四〇万町費一四九万円で四十五年事業として実施されることになつていく。失対事業としては西馬場、戸ノ口線、新留前線はすでに完成し今後川東、西浦井ヶ屋地区を実施することにして

いる。過年度の災害復旧も順調に完工し、二又橋他四ヶ所の現年度河川橋梁災害も三六〇万円の査定が決定している。このように国県の巨額の援助をえたことにより町道五ヶ年計画も大中に繰り上げられることになり関係各方面に対し深甚の

謝意を表しなければならぬ。将来更に道路の改良促進を積極的にする地域産業の振興、生活環境の近代化をはかつていく計画である。

通信体系については、さきに第一次集団電話の開設計画をみたが、更に二次計画も四十六年度に開設される予定であり、次いで全自動化の促進につとめ情報体制を整えていく方針である。

統合蒲生中学校も体育館が十一月末をもつて竣工し運動場その他周辺の環境の整備も漸次進みつつあり、来年度プールの建設をもつて一応当初計画は完成をみる予定である。その他幼児児童生徒の学力体位の向上をはかり、社会教育の充実と相まつて健康で教養豊かな文化の町を築いていく理想にまい進したい。

現にわが国の農林業が内部に色々と重大な問題をかかえている時、外側では貿易の自由化が着々と進んでいることは御承知のことである。四十六年度末までに残存品目は解消する計画といわれ、さらに東南アジアを中心とする農林業の開発輸入が促進されようとしている。特に畜産振興が国内農業の発展の方向とみられているが、最近豪州などにおける肉畜の開発は、日本市場を目標としているだけに軽視することは出来ない。今日わが国の農林業は新しい生産態勢への転換期を迎えているといえるが、それだけに今後の推移については政府の慎重な措置が必要で、一日も早く長期展望に立つた新しい日本農業のビジョンを、この苦悩の中から見出しもらいたいものである。

近年わが国の老人問題は深刻さを加え、とくに過疎化が進行している本町においては、人口の老令化が著しく、これが対策は重要な課題の一つである。人口の過疎に加えて、扶養意識の変化、核家族化の進行等の

諸要因が重なり合つて多面的で複雑な問題となつてゐる。これが対策は先ず健康上のこと、次いで経済的なこと、家族関係のこと、住宅のこと、仕事のこと等が考えられるが、明るく豊かな老後を過していただくために健康と生活保障と福祉施設についての総合的施策が、すみやかに確立されるよう一層の努力を払いたい町としても母子、老人対策をふくめて社会福祉センターの建設を五ヶ年計画の中に組んでゐるが、早期実現を期して努力したい。

町としては町の開発構想において鹿児島都市圏の一環として静かな田園都市の建設をめざし、公害のない工場の誘致、住宅団地の造成をはかり、人口の増加販売力の増加によつて商工業の振興を期待してゐる。過疎過疎といわれながらも、

報 か も う
 広 先人の努力による郷土建設の偉業を継ぎ、更に視野を広くして真の郷土愛と意欲ある開拓精神をもつて勤勞

の汗を流していくならば町の前途は明るい。私共は自信をもつて全町協同の態勢

年頭のあいさつ

教育長 家村 秀夫

新年おめでとう御座います。皆様と共に、平和で明るい年を迎えることが出来たことを心からお喜びすると共に、歴史と伝統に輝き、山河麗わしい吾が蒲生が、お互いの親和と協力によつて、更に発展する年であることを祈念いたします。

昭和四十五年度を回顧しますとき、学校教育の面では、中学校の実質統合という有意義な年でありました。これで、町内の中学生が名

実共に一校で学び、友情を深め、学習に励み、将来蒲生町発展のために、総協和協力することが期待されます。これは蒲生教育史上特筆すべき事だと思ひます。それに伴う遠距離通学生は、子も親も、ほんとう

で前進することを祈念して年頭の御挨拶といたします

に苦勞の多いことでしよう

中学校の校舎は四十四年度で完成しましたが、昨年は約五千万円を投入して、体育館（二三八平方メートル）を建設していただきました。校庭の整地は、悪天候のため遅れましたが大体の整地は出来ました。今後の施設としては、プール、温室、武道館等ありますが、プールと小・中共同の給食施設は四十六年度実現を目ざしています。

小学校では、さきに小川内小と高牧小を蒲生小に統合しましたが、残りの小規模校も児童数が著しく減少し、ますます小規模化してきます。これでは、学習指導の面からや、人間形成の上からも、また子供の将来を考えると、早晩者が意外に多く、やれば出来るという自信を得たようでありました。

また先生方の手によつて学校保健会誌、詩文集「かもろ」が発刊されました。また近く社会科副読本「かもうのくらし」が発行されることになつています。

生徒指導については、いろいろ問題があると思ひますが、各学校とも計画に従つて指導に努めていきます。

町内の小、中、高校の生活指導連絡協議会では、相互に連絡をとりながら指導に当つていますが、校外の生活は教師の目が届きかねるので、家庭でよく指導することが大切です。そして部落PTA、一般成人はその都度指導していただき、学校や家庭に連絡することが子供を守ることに必要と思ひます。

社会教育面では、人を大切にする心を基本に、生涯教育、創造性の啓発、社会連帯の養成、責任感と社会奉仕の精神の啓蒙、郷土愛と文化遺産の愛護等を目標に推進してまいりました。変動する社会に即応して生きて行くには、広汎な学習が必要であります。科学技術の進歩の裏には、人間性の復活ということが言われていますが、あらゆる研修を通して、知識、技術を取得すると共に、お互い人間を尊重し、人間関係を深めて明かるい社会の建設に寄与したいものです。

公民館では昨年、公民大として、栄養研究科、消費生活研究科、民踊研究科、政治研究科等を設け、更に会計事務教室、結婚教室、創造学級等を置き、別に高令者学級、婦人学級、家庭教育学級（二）青年学級等を開設しました。多くの方が受講され、それぞれ成果はあつたと思ひますが、何分少人数の陣容ですので満足な御世話が出来なかつたかと思ひます。

子供の健全育成という見地から、子供会組織の必要

を認めまして、地区公民館をはじめ、各種の夏季スポーツ大会が盛大に実施でき会が出来ました。その活動を通して家庭や学校で出来ない面の効果を期待しています。町では子供会育成協議会を結成し、県の子供会安全会に加入しました。現在約三千団体、十万人が登録しているそうです。

地区公民館は、発足以来五年になりますが、館長、主事その他役員の、愛と犠牲と奉仕によつて実績をあげています。町では、モデル地区として教地区を指定し、研究をお願いしています。今後の問題については館長、主事の会で検討中でありま。

文化財について、昨年は龍ヶ城磨崖文字の調査を中心、多くの文化財が発見されました。これは文化財保護委員や史談会の方々のおかげであります。よく検討し、既存のものと共に保存に努めたいと思います。社会体育面では、体育指導員を中心に、早朝ソフト

昭和四十六年の新春を迎えるに当り、平和と繁栄のよい年であるようお祈りすると共に、本年もよろしく

ことしの四月には私たち

にもつとも身近な知事、県議、町議選挙が行なわれ、更に七月には参議員選挙が予定されています。

町の選挙管理委員会や、

選挙教室

法をもつと一般にわかりやすく知らせてほしいということがあります。

そこで有権者として知っておきたい選挙の知識といつたものを、若干のべてみたいとおもいます。

◎政治と選挙

政治のよしあしは、選挙の良し悪しによつて大きく左右されるといわれています。

主権者である有権者の意志が正しく政治に反映されるかどうかは、有権者の皆さんが選挙においていかに行動するかにかかっています。

わが国の選挙は、大きくわけて国の選挙と地方の選挙にわけられ前者は、国会議員の選挙であり、後者は私たちの住んでいる町や県の長及び議会の議員の選挙であります。

「自分のことは自分で」という考え方で、私たちの住んでいる町や県におこるいろいろな問題を私たち住民自身の手で片づけてゆくとが地方自治であります。この地方自治を実際に運営

していく直接の担当責任者

◎選挙権および被選挙権

(1)選挙権

○日本国民であること。
○年令満二十才以上の者であること。

○住民届を行つて引き続き三ヶ月以上蒲生町に住所を有する者であること。

これらの選挙権は選挙人名簿に登録されることにより実際に選挙することができま。

(2)被選挙権

被選挙権（立候補することのできる者）は日本国民であつて次の要件を満たしている者にあります。

○衆議院議員……年令満二十五才以上の者
○参議院議員……年令満三十才以上の者
○県議会議員……その県議会議員の選挙権を有する者で年令満二十五才以上の者
○県知事……年令満三十才以上の者

○町議会議員……その町村議会議員の選挙権を有する者で年令満二十五才以上の者

が
発
足

また、この基金は年金と年金に加入している人は加同時に離農給付金の交付や入することになります。

ウ農業生産法人の常時従事者である構成員（組合員または社員）で一定の要件……法人の経営面積をその構成員の、数で割つた面積と、個人の経営面積の合計が当然加入者と同じ規模

三〇アール以上) という

死亡した場合には、納め

ご協力ありがとうございました

脳卒中予防特別対策

事業一年目の

検診終る

本町の脳卒中による死亡率は、県平均の二倍、全国平均の三倍以上です。

このような実態から、県

下十一ヶ町のうち選ばれ

て、四十五年度から四十七年度まで三ヶ年に亘つて、

脳卒中予防特別対策事業の

指定を受け、一次検診の結果、七〇四名の

対象者のうち六八四名が受診され、九七%の受診率で

果によつて、要精密の方は

二次検診を行ない、更に、

健康指導がなされます。

四十五年度の一次検診は

十月六日から十二日間、二

次検診は十一月十九日から

十一日間、加治木保健所に

協力しながら、各地区を巡

回して検診を行いました。

ご承知のように、農家に

検診は対象者二五六三名の

うち、二三三八名の方が受

診され、九一、二%の受診

率でした。

また二次検診は、更に自

分の健康、自体に関心を深

くされた結果、七〇四名の

対象者のうち六八四名が受

診され、九七%の受診率で

した。この受診率は今回指

定を受けた十一ヶ町のうち

でも第一位であり、全国的

にもすぐれた数字として、

高く評価されています。

この事業は、更に引きつ

づいて四十七年度まで行な

われますので、皆さんの協

力を願います。

尚、一次検診を受けられ

うことは、如何に本町は高

血圧患者が多いかを示し、

また四十四年度国保事業の病

類別統計で、高血圧症が四

〇〇〇件もあり、とびぬけ

て第一位であることから、

本町がこの指定を受けたこ

とも、うなづけるものがあ

ります。

今後の協力をお願いする

ました。

「心」を

とりもどそう

国の経済が高度成長を遂

げた中で、ともすれば、経

済万能の自己中心主義に陥

りがちな昨今であります

が、蒲生町身体障害者福祉会

の皆さんは、これではいけな

い、なにか社会のお役に立

たなくてはと、不自由な身

体に鞭打ちながら、社会奉

仕の念に燃えていらつしや

います。

登校中の児童、生徒の身

の安全を願つて、雨の日も

風の日も、一日も欠かさず

交通整理にあたつていらつ

しやる姿を拝見するとき、

この篤の一本一本が、わ

たしたち地域住民の心の隅

々まで、きれいに掃き清め

てくれるに違いありません

たしたち地域住民の心の隅

々まで、きれいに掃き清め

てくれるに違いありません

たしたち地域住民の心の隅

々まで、きれいに掃き清め

保育園の餅つき大会



たしたち地域住民の心の隅
々まで、きれいに掃き清め
てくれるに違いありません

第二十回成人祝賀駅伝競走大会



犬は必ず

クサリでつなぎましょう

最近放し飼いの犬が多いようです
放し飼いの犬は捕かくなります

団体	1位	2位	3位	順位	賞	選手	賞	小	田	政	己	(川東地区)
ムムム	チチチ	A(A)	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央
田代留口	小田吉瀬	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞
田代留口	小田吉瀬	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞
田代留口	小田吉瀬	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞	賞賞賞

共同募金並びに歳末たすけあい募金については、町民皆さまがたのご協力によりまして、募金目標に達することができました。厚くお礼申し上げます。

婦人会役員の方々に、歳末たすけあい募金は、特に募金については、ご苦入院中の方、施設におられ、労下されたことに厚くお礼申し上げます。その他さびしく暮らしてお

次の方々から香典返しとしてご寄附をいただきました。ありがとうございます。

金額	故人	住所	氏名
五、〇〇〇円	木原カ子	小川内	木原一成
七、〇〇〇円	木佐貫キサ	城下	木佐貫時雄
三、〇〇〇円	徳村スギ	終野	徳村清
五、〇〇〇円	谷口ミ子	米丸上	谷口季徳
五、〇〇〇円	坂上忠義	米丸上	坂上ハルエ
三、〇〇〇円	沢田テヲ	西浦下	沢田ハルエ
一〇、〇〇〇円	村山イワ	隼人町	村山為夫
三、〇〇〇円	塚田溢志	宮内上	塚田重雄
二、〇〇〇円	井之口イト	川東上	井之口モト
一〇、〇〇〇円	宮路栄	漆旭	宮路篤子
五〇、〇〇〇円	馬渡三千代	西	馬渡義夫
一〇、〇〇〇円	寄附	新辻	竹内実弘

蒲生町共同募金分会
蒲生町社会福祉協議会